
北海道浮魚ニュース

平成 17(2005)年度 7 号(通巻 No.196)

2005 年 7 月 4 日

北海道立水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm

◎道東太平洋マサバ・マイワシ漁期前調査結果

北辰丸(釧路水産試験場調査船)によって行われたマサバ・マイワシ漁期前調査の結果をお知らせします。

調査期間 : 2005 年 6 月 22 日～6 月 30 日

調査海域および調査点 : 道東～三陸沖太平洋(北緯 39 度 30 分～42 度 20 分、東経 143 度 20 分～146 度 50 分)における 7 調査点(図 1、表 1)

調査方法 : 9 種類の目合(22,25,29,37,48,55,63,72,82mm)の流し網を用いた漁獲試験

① 漁獲試験を行った 7 調査点の表面水温は 13.0～20.0℃(昨年:12.8～18.4℃)、50m 層は 2.0～15.3℃(昨年:1.9～10.0℃)、100m 層水温は 1.4～11.9℃(昨年:1.5～6.9℃)でした(表 1)。

② 漁獲試験の結果は表 1 のとおりで、流し網調査 1 回当たりの漁獲尾数(CPUE)の経年変化は図 2 のとおりです。

③ 漁獲試験で採集された漁獲物は以下のとおりです。

サバ類(マサバ、ゴマサバ)は、5 調査点で 3～135 尾、合計 294 尾漁獲されました。CPUE は 42.0 尾/回で前年の 0.0 尾/回を上回り、近年の中では高い値を示しましたが、資源水準は依然低い状態です。魚体は体長 9～33cm 台で、24 cm 台が主体でした。

マイワシは、漁獲されませんでした。

カタクチイワシは、6 調査点で 7～3,362 尾、合計 4,881 尾漁獲されました。CPUE は 697.3 尾/回で、前年の 450.3 尾/回を上回りましたが、近年の中では低い値でした。魚体は体長 11.0～14.5cm 台で、13.0 cm 台が主体でした。

サンマは、7 調査点で 1～1,033 尾、合計 1,387 尾漁獲されました。CPUE は 198.1 尾/回で、前年の 6.5 尾/回を上回り、近年の中では最も高い値でした。

スルメイカは、4 調査点で 1～5 尾、合計 10 尾漁獲されました。CPUE は 1.4 尾/回で、前年の 5.6 尾/回を下回り、近年の中では低い値でした。

アカイカは、1 調査点で 8 尾漁獲されました。CPUE は 1.1 尾/回で、前年の 0.3 尾/回を上回りましたが、近年の中では低い値でした。

◎ 来る 7 月 25～29 日に、中央水産研究所(横浜市)で長期漁海況予報会議が開催され、今回の調査結果を含めた各機関の資料を基に、漁況予報が発表される予定です。

(文責 : 釧路水試 資源管理部、直通電話 : 0154-23-6222、FAX : 0154-23-6225)

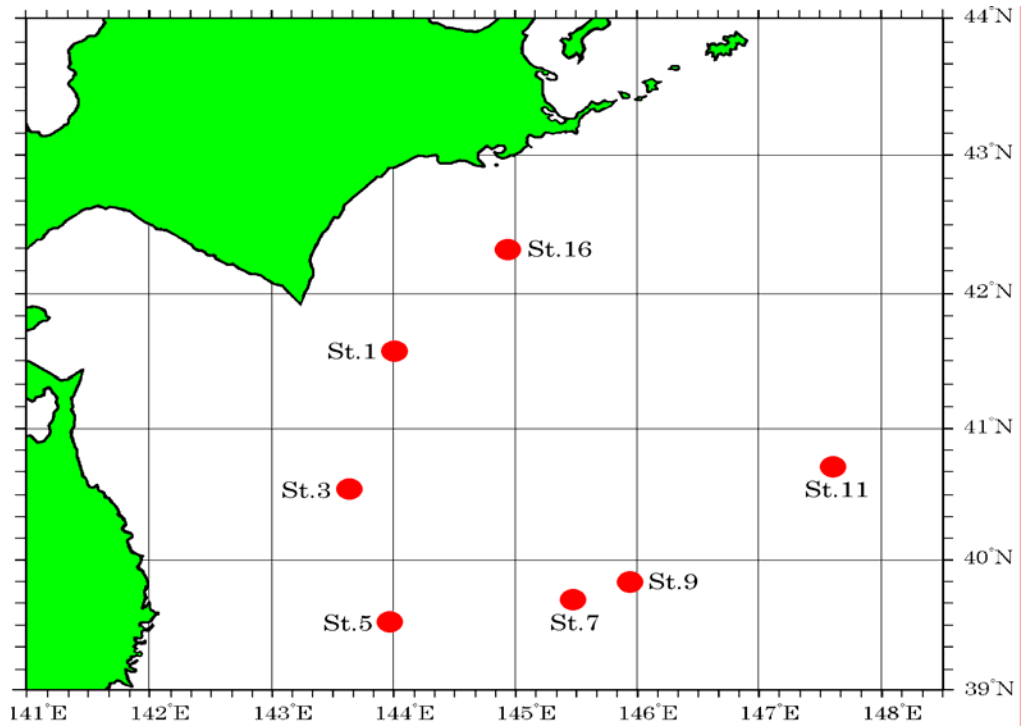


図1 漁獲試験調査点

表1 水温および魚種別採集尾数

St.	1	3	5	7	9	11	16	合計
表面水温	15.1	16.4	19.6	20.0	18.1	17.5	13.0	
50m水温	2.2	10.0	12.6	15.3	4.8	11.1	2.0	
100m水温	3.9	7.5	9.0	11.9	3.3	8.2	1.4	
サバ類		22	3	49	135	85		294
マイワシ								0
カタクチイワシ	1,103	7		3,362	7	43	359	4,881
サンマ	1,033	8	1	45	43	165	92	1,387
スルメイカ	1				5	1	3	10
アカイカ				8				8

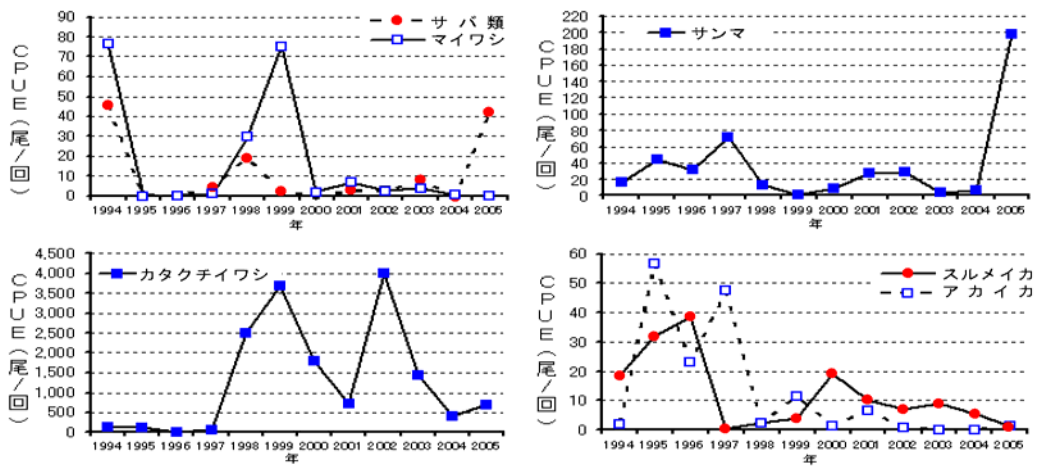


図2 流し網調査1回当たり漁獲尾数 (CPUE) の経年変化